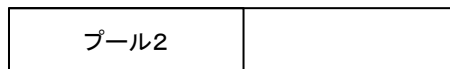
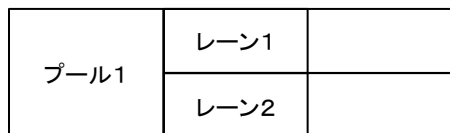


【住民記録システム】業務フロー

令和X7年（X2025年）X1月XX31日

BPMN凡例



プールとレーン：
プールの中に関係者とその活動内容が記載される。1組織が1つのプールとして示され、レーン1と2は当該組織内の部署や役割を示す。
またプールは、プール2のように外部組織を表現する場合などには内部に何も記載しない状態で表現することもできる。

○ 開始イベント：
事務の開始を示し、必ず記載する必要がある。

● 終了イベント：
事務の終了を示し、必ず記載する必要がある。

✉ メッセージ開始イベント：
他のプールからのメッセージを受け取ることで事務が開始することを示す。

✉ メッセージ終了イベント：
他のプールにメッセージを送って、事務が終了することを示す。

✉ メッセージ受信中間イベント：
業務フロー図の中間に配置され、他のプールからのメッセージを送信するまで作業が待機されることを示す。

✉ メッセージ送信中間イベント：
業務フロー図の中間に配置され、他のプールにメッセージを送ってから、直ちに次の作業に移ることを示す。

→ シーケンスフロー：
イベントやアクティビティ同士を接続する。

● - - - - - → メッセージフロー：
プールを跨いでメッセージのやり取りがあることを示す際に使用する。メッセージとは口頭や文書、メール等である。同一プール内では使用できない。

..... → 関連／データ関連：
データや注釈との関連があることを示す。データストア間の接続にはデータ関連を用いる。

📄 マニュアルタスク：
人が手作業で行うタスクであることを示す。

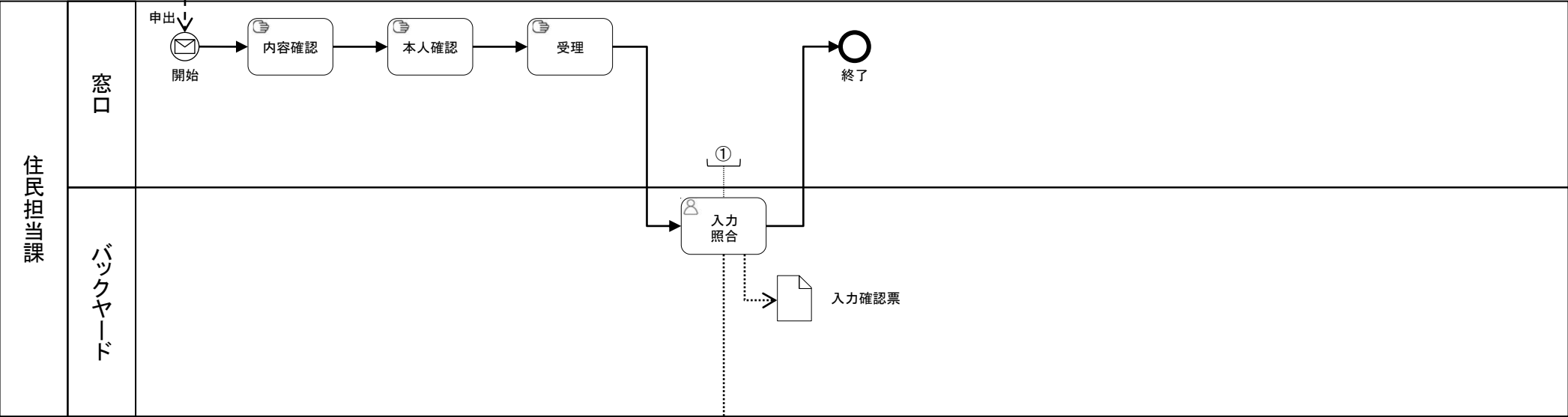
👤 ユーザータスク：
人が情報システム等を使って行うタスクであることを示す。

✖ 排他ゲートウェイ：
業務フローの分岐や結合（XOR条件）で使われ、条件に基づいて判断が行われることを示す。本資料では分岐と統合の両方で使用し、分岐（流出）または結合（流入）する経路のうち、必ずいずれか一つの経路に流れることを示す。

🔍 イベントベースゲートウェイ：
業務フローの分岐で使われ、その先には複数のタイマー中間イベントやメッセージ受信中間イベント、受信タスク等が接続される。接続されたイベントやタスクのうち、最初に発生したもののみが実施されることを示す。

🗄 データストア：
業務フロー内において継続的に参照されたり更新されたりする、蓄積された情報群を示す。

📄 データオブジェクト：
アクティビティで必要とされるデータや作成されるデータを示す。



(※通称記載の申出)
通称記載申出書
個人番号カード
特定特別永住者証明書

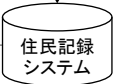
(※通称削除の申出)
通称記載申出書
個人番号カード
特定特別永住者証明書

①



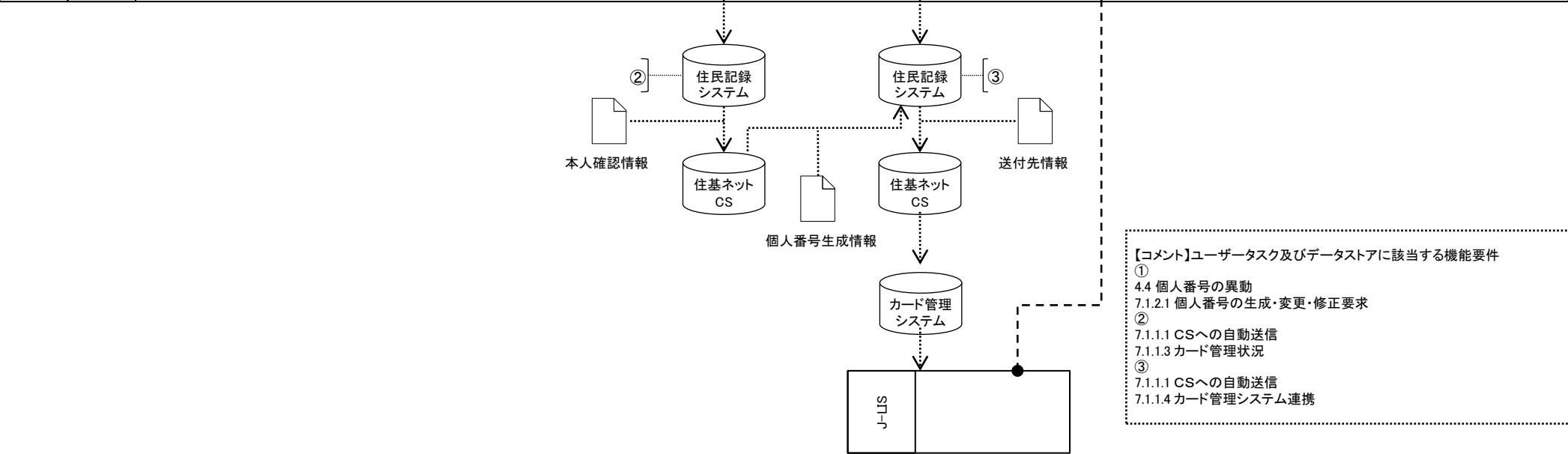
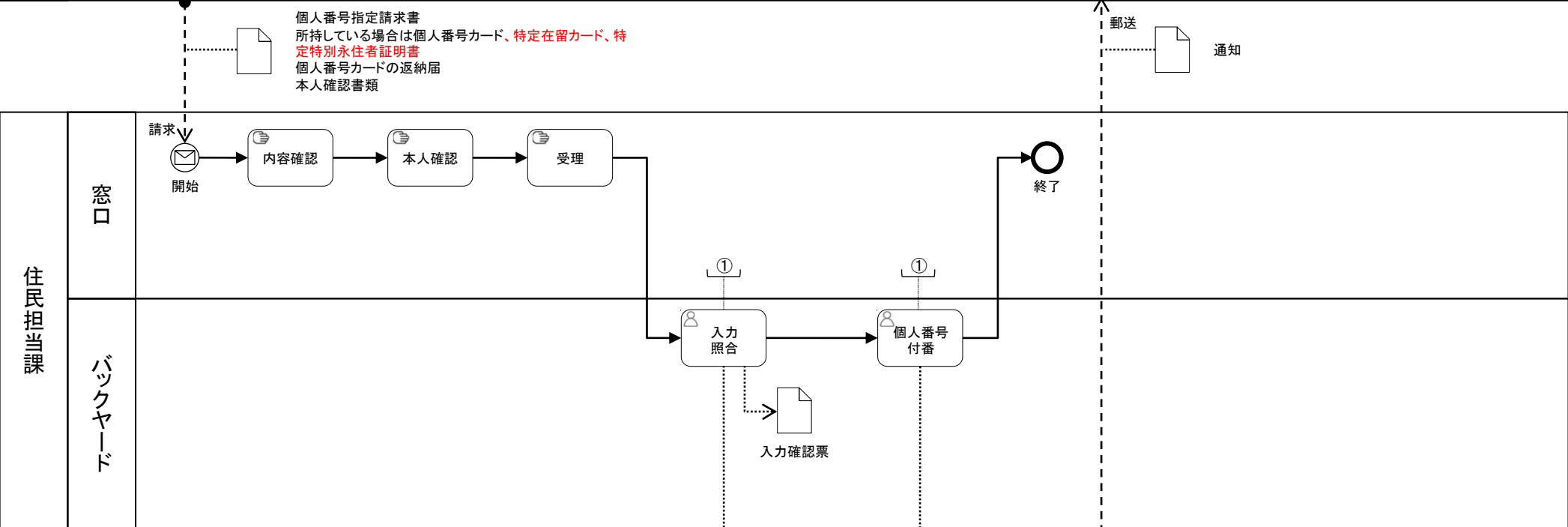
入力確認票

②



本人確認情報

【コメント】ユーザータスク及びデータストアに該当する機能要件
①
1.1.7 旧氏・通称
1.1.2 外国人住民データの管理
②
7.1.1.1 CSへの自動送信



住民

異動者



転出証明書
個人番号カード、特定在留カード、特定特別永住者証明書
本人確認書類

